

日本学校教育相談学会

静岡県支部だより

平成23年5月

巻頭言

支部理事長 梶原俊宏

不登校と発達障害

震災による被災者の窮状が次々に報道され、その深刻さが新たに伝わってきます。救援の手が差し伸べられても簡単に癒されるものではないでしょうが1日も早く復旧してくれることを願わずにはおられません。

さて、被災地の学校の再開が待たれているのですが一方、新学期が始まり不登校児童生徒のことも気になるどころです。

過去に不登校児童生徒が「学校嫌い」「学校恐怖症」「登校拒否症」など呼ばれた時期がありました。その不登校児童生徒を取り巻く状況と対処の仕方、見方がいま、変化してきているのではないかと思います。

不登校とは呼び方が異なったその時期、原因の多くは親の養育姿勢が過保護・過干渉であり、原因とは云われなくても優等生の息切れ型、家族力動のアンバランスなどが一要因としてあるとして検討されました。特別に知的、情緒的に障害がある子どもをのぞいて当時、子どもの発達障害が何かしら関係しているということはまだ耳にしたことはありませんでした。相談を進める上で成育歴や家庭環境、教育環境がどうであったかは重要であっても、障害から来るのであるから親や本人のせいではないという見方はされにくかったように思います。当然、友人との人間関係が苦手だったり、学習したものが一向に定着せず学校が嫌いになった子どももいただろうけれどそれは幼児期からの親の手のかけ方、本人の性格・資質から来るものだったり訓練・努力不足と考えられ、「障害」に関係するという発想はなかったわけでは

ありません。いま、これだけ発達障害が注目されその数も意外に多いことが明らかになってきて、過去に出会ったあのケースはどうだったか、発達障害の傾向があったのではないか、人間関係が不得手なのは親の責任でも本人の性格、努力不足でもなかったのではと思ったりすることがあります。

周囲が「発達障害」の傾向を認めず親、本人のあり方が非難、否定されたとき2次的障害として不登校に陥ることはまれではありません。不登校の6割が発達障害の傾向を持つ子どもたちだという大胆な意見を述べる方もいます。従って例えば対人関係がうまくいかないというのを親の在り方の修正を迫るのではなく「障害」を持った子への適切な関わりと云う観点から見直すことが大切になります。その子のおかれた環境や成育歴は関係がないというわけではありませんがまずは発達障害の傾向の有無、その幅が広く判断が難しいところがありますがそれが問われねばならないのかもしれないかもしれません。

今後はそういう面からも発達障害の子ども一人ひとりのへの的確な対応について更に研修を深めていかなくてはならないと思っております。

学校教育相談実力養成講座参加者の声

この講座も6回目を迎えます。そこで、このたびは前年度参加された方の感想（第4回終了時に出していただいたもの）を一部紹介させていただきます。

- * 小学校の教員をしています。日々、学習を通して、子どもの成長を支援指導していますが、心の健康、心の安定の重要性を痛感してこの講座に参加しました。そして、今、参加して良かったと思っています。子どもへの接し方、見方、又、専門的な知識に触れることができたので、目の前の子どもや保護者との良い関係づくりに生かしたいと思います。私の心に優しくて明るい光が、射した気がします。
- * 具体的な例、実際に現場で使える例のお話が多いのでとても役立ちますし、感謝しながらの学習会です。これからも続けて参加させて頂きたいと思っています。
- * 3回目、4回目と参加させていただきました。すぐに学校現場で活用できる内容でとても参考になりました。特に、グループでのワーク、1：1でのワークは、カウンセラーになったつもりで考えたり質問もでき、本当に具体的に学ぶことができました。高度の内容も多く、自宅でもう一度二度と読みかえすこともあり大変でしたが、またこのような機会がありましたら参加させていただきま
- * 勤務の関係で、すべてに出席できなくすみません。充実した研修ができ、ありがたく思います。わかりやすく、資料の準備など助かりました。
- * 大変勉強になりました。資料もたくさん頂き、自校での取り組みに生かしていけるようにしていきたいと思います。
- * 心理アンケートを活用するなど生徒理解するなど、とても興味深いものでした。カウンセリングの勉強を深めることが出来、とてもおもしろかったです。
- * 心の健康ということでお話を伺い、大変参考になりました。問題が起きる前に対応する大切さを日頃から感じています。小学生に対してどのように利用活用したらよいか、参考にやってみたいと思いました。ブリーフセラピーも心が温くなる言葉を大切にしつつ、日々の中で解決、ゴールをみつけていくようにしていきたいと思います。
- * 午前中は解決志向ブリーフセラピーでの講義で、演習を交えて分かりやすい内容でした。楽しく講義を受けることができました。普段子どもと対応する際のアセスメントの大切さを実感することができ良かったと思います。午後の心情予問、問診の講義では、自分を知ることでもでき、実際の活用法の説明など参考になりました。ぜひ勤務校で取り組んでみたいと思いました。
- * ブリーフセラピーは以前受けた講習の経験もあり、さらに具体的に身近な方法として考えることができました。来談者が安心して話しやすい場をつくることの大切さを実感、S-focusなど学びが多かったと思います。心情予診については、理論もすべてはじめてでしたので、興味深く聞くことができました。内容豊かな講義に参加できて良かったと思います。
- * ブリーフセラピー、よくわかりました。次のステップのお話を聞きたいと思いました。心情予診の講義ではたくさんの資料をいただき、ありがとうございました。30年もこのアンケートを行っていることに驚きました。
- * ブリーフセラピーについては、今までに学習したことがあり理解しているつもりでしたが、S-focusについて忘れてしまっていて、思い出す事ができました。心情外層病については耳新しい言葉でした。14の心の特徴について簡単に把握できる事はアセスメントに役立ち、応用してみたいと思

ます。学校側の了解の中でやれることですので～。一日、いい学習ができました。

- * ソリューション・フォーカスは、こんなものという簡単な説明を知っていただけだったが、実際S-focusの質問を受けて本当に、プラス志向に気分が変化してことに驚いた。もう少し深く学んでみたい。心情質問診を初めて知った。学校カウンセリングはこのような仕事も教師を手助けする重要なことになることを学んだ。
- * 解決志向ブリーフセラピー、とてもわかり易いお話しでした。あと半日続けてもらえると、ワークやもう少し詳しい実践方法まで学べたと思いました。心の健康管理、心情予診一心の健康に関するチェックリストには色々ありますが、生徒の心の特徴がわかるだけでなく、その後のカウンセリングに直結して使うことができるという点で優れている方法だと思いました。

今年も7月から11月にかけて全5回の講座を開催します。関心がある講座だけ参加することもできますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

日本学校教育相談学会24年度総会・研究大会について

かねてから会員の皆様に24年度大会は本県で実施される予定であることをお知らせしています。今まで理事と準備委員で検討してきましたが、ここに支部で作成した骨子(案)を紹介します。この案を7月初めの学会本部役員会に提示することになります。

- | | |
|------------|--|
| 1. 大会テーマ | 「深めよう心の絆—未来を育てる学校教育相談」 |
| 2. 期 日 | 平成24年8月17日(金)・18日(土)・19日(日) |
| 3. 会 場 | 静岡文化芸術大学 |
| 4. 日 程 | 例年通り。初日に夏季ワークショップ。2日目に総会、シンポジウム、実践事例発表、記念講演、特別講演ほか。最終日は実践事例発表。 |
| 5. 記念講演 | 京都大学名誉教授で現浜松大学大学院教授 山中康裕先生 |
| 6. 特別講演 | 静岡文化芸術大学学長 熊倉功夫先生 |
| 7. シンポジウム | テーマ 「教室での発達障害とどう向き合うか」 |
| 8. ワークショップ | 6講座を予定 |

今後大会当日までいろいろな仕事がありますが、着実にこなしていきたいと思います。今一番懸念していることは大会前日と当日の運営スタッフの人数です。会員の皆様のご協力を今からお願いする次第です。

お知らせ

1. 23年度役員

顧問	堀内 正文					
理事長	梶原 俊宏	副理事長	大越 和夫			
理事	藁科 正弘	小澤 巖	和久田雅之	土屋 秋雄	蔭山 昌弘	
	小池 桂子	長 富 優	渡邊 博文	渡邊 和彦	渡邊 満昭	
	西郷 朱美	高木 執	増田 道則	植田 三喜		
監事	堀田弥寿史	磯部隆				

2. 活動予定

(1) 研究会

第1回	平成23年	6月11日(土)	総合社会福祉会館
第2回	平成23年	8月13日(土)	総合社会福祉会館
第3回	平成24年	1月28日(土)	総合社会福祉会館

(2) 学校教育相談実力養成講座

第1回	7月 9日(土)	面接の理論と実際、相談面接実習
第2回	8月27日(土)	子どもの発達課題とその対応、グループエンカウンター
第3回	9月24日(土)	発達障害の理解と対応、不登校の理解と対応
第4回	10月29日(土)	交流分析の理論と実際、事例学習
第5回	11月26日(土)	コーチングの理論と実際、事例研究

- ★ 支部のホームページが完成しました。ヤフーで「日本学校教育相談学会静岡県支部」と検索してみてください。これから機会あるごとに情報を発信したいと思います。
養成講座等の活動予定についての問い合わせは事務局までお願いします。